

contents

- ・ 病院長新年のご挨拶
- ・ 第5回医療連携フォーラムご報告
- ・ Pick Up フォーラム講演
- ・ 診療科紹介
- ・ 前立腺がんウイルス療法臨床試験を開始
- ・ 年末年始の診療記録
- ・ 新任教授紹介
- ・ 第3回がん診療連携セミナーのご案内



編集：杏林大学医学部附属病院
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
Tel 0422-47-5511 (代表)

杏林大学病院

新年のご挨拶



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新型コロナウイルス感染症の第5波が収束したのも束の間、年明け早々オミクロン株による第6波の襲来のため、首都圏を含む広い地域でまん延防止等重点措置が適用されています。当院も東京都の要請に従い特定機能病院としての対策を講じております。季節がら脳梗塞や心血管障害等の患者さんの救急搬送が多くなっていますが、コロナ以外の患者さんにも万全の診療体制で臨んでおりますので、ご紹介いただけますようお願い申し上げます。

また、1月から呼吸器外科に新進気鋭の新任教授が就任しましたので、診療のさらなる発展が期待されます。さらに、今年の夏ごろには最新の機器を備えたハイブリッド手術室を含む手術室が3室増えます。これによりTAVI治療はじめ鏡視下やロボット支援手術等の低侵襲手術がより安全に実施できるものと考えております。今後も患者さんに良質で安全な医療を提供できる環境整備を継続してまいります。

コロナが一刻も早く終息し、本年が皆様にとりまして幸多き年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

病院長 市村正一

◆第5回杏林大学医学部附属病院 医療連携フォーラム ご報告

近隣医療機関の皆様との連携をさらに深めるため、昨年11月18日(木)に第5回杏林大学医学部附属病院 医療連携フォーラムをWEB開催いたしました。

この度は6講演を詰め込んだ、盛り沢山なプログラムにさせていただきました。各講演につき5分程度と限られた時間の中で、担当診療科では凝縮した内容となるように心掛け、ありがたいことにご参加いただいた方からはご好評をいただきました。

近隣医療機関の皆様にはいつも大変お世話になっており、心より感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の見通しは予断を許しませんが、連携には困難な状況下でも、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



患者支援センター長 塩川芳昭

【講演内容】

- ①呼吸器内科「難治性呼吸器疾患への取り組み」
- ②整形外科「運動器難治性疾患への取り組み」
- ③リハビリテーション科「小さな一歩」
- ④小児科「気になる症状から緊急時対応まで」
- ⑤放射線科「当院最新PET-CT装置の特徴と今後の展望」
- ⑥感染症科「新型コロナウイルスの現状」

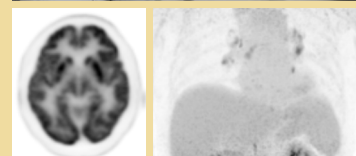
■ 杏林大学病院における最新PET-CT装置の特徴と今後の展望について

Pick Up フォーラム講演

2020年11月に当院では初となるPET-CTを導入してから1年が経過しました。

早期胃がんを除くすべての悪性腫瘍が保険適応であり、主に病期診断や再発・転移の検索目的に用いられています。当院に導入された装置は国産として初めてのDigital PET-CT装置(Cartesion Prime; Canon Medical Systems)です。半導体を用いた検出器が搭載され、従来機器よりも短時間で高画質な画像を取得することが可能であり、当院の検証でもその優れた性能が確認されています。

2021年7月には、人工知能の一つである深層学習を応用した新しい画像再構成法(AICE)がPETとCTそれぞれで使用可能になり、画質向上や被ばく低減に寄与しています。引き続き患者さん、各診療科の先生方の要望に応えるべくスタッフ一同努めてまいります。



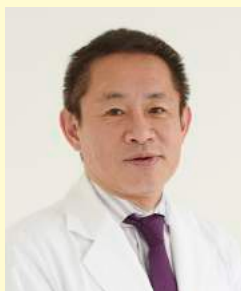
AICE使用画像 脳(左)、胸部(右)

放射線科 准教授 須山淳平

精神神経科では「こころの病」を治療の対象としており、来院された方のこころの状態を、生物学的、心理学的、そして社会的な視点から総合的に判断し、お一人お一人に最善の医療が提供できるよう心掛けています。

年間で、約 1,300 名の初診患者さんが外来に訪れ、延べ 26,000 名が通院され、当科専門の開放病棟に 400 名超の患者さんが入院されます。診療の対象となる疾患は、うつ病や双極性障害といった気分障害、適応障害などのストレス関連障害や各種不安症、治療抵抗性統合失調症を含めた統合失調症、不眠や過眠が前景となる睡眠障害、物忘れや行動・心理症状が現れる認知症などです。特に、難治性うつ状態を対象に詳細な評価や検査を通して診断・治療を検討し直す専門的な入院や、日本睡眠学会専門医療機関として終夜睡眠ポリグラフ検査など入院・外来での睡眠検査を積極的に行っています。

患者さんご家族にご満足いただけますよう、様々な治療選択肢をご紹介します上でよく話し合っ方針を決定し、回復というゴールに到達できるようお手伝いをさせていただきます。即日入院のご依頼をお引き受けできることもございますので、ぜひとも代表電話から当科までお問い合わせいただければ幸いです。今後も変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



渡邊 衡一郎
(教授・診療科長)



診療科一同

研究最前線

前立腺がんに対するウイルス療法の臨床試験を開始へ



福原 浩
(教授・診療科長)

泌尿器科では福原教授を総括責任者として、前立腺がんに対してウイルス療法を用いた新しい治療法を研究しています。

このウイルス療法は、がん細胞だけを攻撃するウイルスをがん細胞に注入し増殖させることで、正常な細胞は傷つけず、がん細胞だけ死滅させることができる画期的な療法です。

使用するのは、東京大学医科学研究所 藤堂具紀教授らが開発したヘルペスウイルス G47 Δ (デルタ) で、同大学では 2021 年 6 月に悪性神経膠腫の治療薬として使用を開始しています。

泌尿器科では、転移のある前立腺がん患者を対象に、実用化に向けた臨床試験を 2 月下旬から開始します。



年末年始の診療記録

2021 年 12 月 28 日夕方～
2022 年 1 月 4 日朝まで



患者数 (人)	811 人 (内 3 次救急 43 人)
救急車台数	111 台 (内 3 次救急 35 台)

(内訳 1-2 次のみ)

診療科	救急総合	内科系	外科系	精神神経科
患者数	212	71	21	3
診療科	小児科	小児外科	脳神経外科	心臓血管外科
患者数	98	1	34	3
診療科	整形外科	皮膚科	形成外科	泌尿器科
患者数	63	40	64	28
診療科	眼科	耳鼻咽喉科	産科 婦人科	SCU
患者数	69	40	11	10

2022 年 1 月就任 教授紹介



呼吸器・甲状腺外科
あんらく まさき
安楽 真樹

鹿児島大学医学部卒業、トロント大学院修了 博士(医学)
トロント大学胸部外科フェロー、慶應義塾大学医学部
専任講師、東京大学医学部特任准教授などを経て、
2021 年杏林大学着任

早期肺癌に対する低侵襲手術(胸腔鏡手術やロボット支援下手術)から、局所進行癌の拡大切除術まで、大学病院の使命である高度医療を提供してまいります。また、病だけでなく人を診る良医の育成に努める所存です。ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

第 3 回 がん診療連携セミナーのご案内

薬剤部では、近隣の保険薬局の先生方と薬業連携を目的としたセミナーを開催します。皆様のご参加をお待ちしております。



日程：2022 年 2 月 24 日 (木) 19 時～ 20 時 20 分
会場：オンライン Zoom

講演 1:「悪心・嘔吐のマネジメントと指導のポイント」
当院 薬剤部 尾崎正隆

講演 2:「トレーシングレポートの運用と事例紹介」
ノムラ薬局高尾店 栗矢勝宏先生
アイン薬局西新宿店 三宅祥太先生

申込み等詳細：当院ホームページ「医療機関向けお知らせ」をご参照ください。

